

## 第7期北方領土隣接地域振興計画 実施計画

|       |                       |
|-------|-----------------------|
| 市 町 名 | 中標津町                  |
| 重点施策名 | 2 新たな観光メニュー創造に向けた基盤整備 |

|   |
|---|
| <b>1 目指す目標(長期目標)</b>  |
| 本町の魅力向上と交流人口の増加に向け、空港などの交通網を活用した観光客の誘致のほか、体験・滞在型観光の推進や町内の観光資源と管内周辺の自然観光資源を有効に活かした広域周遊滞在型の観光振興の発展を目指す。 |

| <b>2 目標達成に必要な対象群の変化内容</b> |               |                                |
|---------------------------|---------------|--------------------------------|
| 番号                        | 変化や働きかけを行う対象群 | 必要な変化(維持する内容)                  |
| 1                         | 観光協会          | 地域観光資源の有効活用に向けた検討、PR活動、協会の機能強化 |
| 2                         | 観光資源・観光施設     | 既存観光施設の利便性向上に向けた施設整備           |
| 3                         | 道路交通網の整備      | 高規格道路の整備等による広域周遊観光ルート整備        |
| 4                         | 中標津空港         | 地域航空ネットワークの充実・拡充               |
| 5                         |               |                                |

| <b>3 2の変化(維持)を実現するためのプロセス(工程表)</b> |  |                        |      |                              |
|------------------------------------|--|------------------------|------|------------------------------|
| 番号                                 | 実施する内容   | 実施主体                   | 実施期間 | 実施による到達レベル                   |
| 1                                  | 高規格道路・国道・道道の整備促進   | 国・道                    | H27～ | 地域高規格道路進捗率の向上及び国道・道道の整備改修の完了 |
| 2                                  | 周辺地域へのアクセス向上のため、中標津空港の機能の整備  | 道                      | H27～ | 中標津空港整備の進展                   |
| 3                                  | 地方空港を活用した観光客等の誘致促進   | 中標津空港<br>利用促進期<br>成会   | H27～ | 観光客数の増加、外国人観光客数の増加           |
| 4                                  | 町及び根室管内の観光・各種イベント情報PR強化及び外国人向けのPR強化  | 町・観光協会・民間団体            | H27～ | 観光客数の増加、外国人観光客数の増加           |
| 5                                  | 集客力・利便性向上のため、主要観光施設やイベント開催施設・自然観光資源の整備及び機能充実   | 町・民間団体                 | H27～ | 施設・設備の整備完了及び観光客数の増加          |
| 6                                  | 地方空港を活用する教育旅行誘致を目的とした、学習メニュー・プロモーション活動、受入推進、旅行業者との連携                                 | 根室管内教育旅行誘致推進協議会        | H27～ | 道内・外からの修学旅行生増加               |
| 7                                  | 地域内の資源の有効活用し、大学研究室・ゼミ等の誘致を推進   | インカレ<br>ねむる事業<br>推進協議会 | H27～ | 大学研究室・ゼミの誘致数の確保              |
| 8                                  | 航空ネットワークの充実を図るため、中標津空港の既存路線の維持・確保に取り組むほか、東京線の複便化、関西便などの新規路線の開拓、航空需要拡大に向けたLCC就航の要請の実施 | 北方領土隣接地域振興航空路線誘致促進期成会  | H28～ | 観光客数の増加                      |

## 第7期北方領土隣接地域振興計画 実施計画

|           |                       |
|-----------|-----------------------|
| 市 町 名     | 中標津町                  |
| 重 点 施 策 名 | 2 新たな観光メニュー創造に向けた基盤整備 |

| 1 目標達成に向けた内的外的な課題及び現状認識   |   |    |   |    |  |
|---------------------------|---|----|---|----|--|
| 内部環境<br>(市町及び地域の関係者の経営資源) | <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">強み</td> <td style="padding: 5px;"> <p><b>【強み】</b><br/>北海道の東部、根室内陸の中央に位置し、半径約100km以内に世界遺産「知床」を有する知床国立公園、阿寒国立公園、釧路湿原国立公園、網走国定公園など、国内随一の自然に満ち溢れた道東周遊観光の拠点都市である。<br/>また、道東観光の空の玄関口である中標津空港を有し、町内には原生の自然の中に位置する秘湯「養老牛温泉」のほか、中心市街地にも温泉が楽しめる宿泊施設が多数あり、観光客のみならずビジネスマンの宿泊に対応が可能。<br/>さらに、北海道横断自動車道(道東自動車道)の開通及び釧路外環状道路の整備により、道央圏からの移動時間の更なる短縮が期待できる。</p> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">弱み</td> <td style="padding: 5px;"> <p><b>【弱み】</b><br/>道央圏との距離は大きく、高速道路網の整備が進んではいても容易に訪れる環境ではない。また、道外との航空路線は羽田便1便のみであり、関西圏以西からの観光客の集客に課題を有する。<br/>また、近年、道東圏域の基幹道路を中心に暴風雪による長期間通行止めになる事案が生じ、観光客が宿泊施設に足止めされるなど圏域の観光に与える影響は大きく、道路網の防雪対策の早期整備が必要である。</p> </td> </tr> </table>  | 強み | <p><b>【強み】</b><br/>北海道の東部、根室内陸の中央に位置し、半径約100km以内に世界遺産「知床」を有する知床国立公園、阿寒国立公園、釧路湿原国立公園、網走国定公園など、国内随一の自然に満ち溢れた道東周遊観光の拠点都市である。<br/>また、道東観光の空の玄関口である中標津空港を有し、町内には原生の自然の中に位置する秘湯「養老牛温泉」のほか、中心市街地にも温泉が楽しめる宿泊施設が多数あり、観光客のみならずビジネスマンの宿泊に対応が可能。<br/>さらに、北海道横断自動車道(道東自動車道)の開通及び釧路外環状道路の整備により、道央圏からの移動時間の更なる短縮が期待できる。</p>                          | 弱み | <p><b>【弱み】</b><br/>道央圏との距離は大きく、高速道路網の整備が進んではいても容易に訪れる環境ではない。また、道外との航空路線は羽田便1便のみであり、関西圏以西からの観光客の集客に課題を有する。<br/>また、近年、道東圏域の基幹道路を中心に暴風雪による長期間通行止めになる事案が生じ、観光客が宿泊施設に足止めされるなど圏域の観光に与える影響は大きく、道路網の防雪対策の早期整備が必要である。</p>   |
| 強み                        | <p><b>【強み】</b><br/>北海道の東部、根室内陸の中央に位置し、半径約100km以内に世界遺産「知床」を有する知床国立公園、阿寒国立公園、釧路湿原国立公園、網走国定公園など、国内随一の自然に満ち溢れた道東周遊観光の拠点都市である。<br/>また、道東観光の空の玄関口である中標津空港を有し、町内には原生の自然の中に位置する秘湯「養老牛温泉」のほか、中心市街地にも温泉が楽しめる宿泊施設が多数あり、観光客のみならずビジネスマンの宿泊に対応が可能。<br/>さらに、北海道横断自動車道(道東自動車道)の開通及び釧路外環状道路の整備により、道央圏からの移動時間の更なる短縮が期待できる。</p>  |    |   |    |  |
| 弱み                        | <p><b>【弱み】</b><br/>道央圏との距離は大きく、高速道路網の整備が進んではいても容易に訪れる環境ではない。また、道外との航空路線は羽田便1便のみであり、関西圏以西からの観光客の集客に課題を有する。<br/>また、近年、道東圏域の基幹道路を中心に暴風雪による長期間通行止めになる事案が生じ、観光客が宿泊施設に足止めされるなど圏域の観光に与える影響は大きく、道路網の防雪対策の早期整備が必要である。</p>  |    |   |    |  |
| 外部環境<br>(市町を取り巻く環境)       | <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">機会</td> <td style="padding: 5px;"> <p><b>【機会】</b><br/>中核的都市機能を備えた当町は、大型店や中小の店舗が立ち並び、商圏人口は約6万人、道内トップクラスの年間商品販売額を誇る。<br/>近年、健康・自然志向のライフスタイルに関心が高まるなか、日本唯一の酪農ロングトレイル「北根室ランチウェイ」を利用する個人客が増加している。また、東アジア圏からの訪日外国人観光客の増加に伴い、食や大自然などの北海道ブランドを目的とした集客が期待できる。<br/>また、平成28年3月に開通した北海道新幹線を利用して来道する観光客の当地域への2次交通対策(空路)の検討がされており、東北・北関東圏からの新規観光客の掘り起こしへの期待と共に新たな観光ルートの確立が求められている。</p> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">脅威</td> <td style="padding: 5px;"> <p>さらに、国は北方領土への国民の関心を高めるとともに、領土教育を一層推進するために、北方領土隣接地域への訪問客拡大に向けた振興方策を検討し、もって北方領土隣接地域の振興に資するよう「北方領土隣接地域への訪問客拡大に向けた振興方策の検討会議」を平成28年11月に発足させた。</p> <p><b>【脅威】</b><br/>高速ツアーバス事故を発端に平成26年に改正された新たな貸切バスの運賃・料金制度により、結果的に移動時間・距離が制限され、当地域への団体周遊観光バスによる観光客数の減少が表面化している。</p> </td> </tr> </table> | 機会 | <p><b>【機会】</b><br/>中核的都市機能を備えた当町は、大型店や中小の店舗が立ち並び、商圏人口は約6万人、道内トップクラスの年間商品販売額を誇る。<br/>近年、健康・自然志向のライフスタイルに関心が高まるなか、日本唯一の酪農ロングトレイル「北根室ランチウェイ」を利用する個人客が増加している。また、東アジア圏からの訪日外国人観光客の増加に伴い、食や大自然などの北海道ブランドを目的とした集客が期待できる。<br/>また、平成28年3月に開通した北海道新幹線を利用して来道する観光客の当地域への2次交通対策(空路)の検討がされており、東北・北関東圏からの新規観光客の掘り起こしへの期待と共に新たな観光ルートの確立が求められている。</p> | 脅威 | <p>さらに、国は北方領土への国民の関心を高めるとともに、領土教育を一層推進するために、北方領土隣接地域への訪問客拡大に向けた振興方策を検討し、もって北方領土隣接地域の振興に資するよう「北方領土隣接地域への訪問客拡大に向けた振興方策の検討会議」を平成28年11月に発足させた。</p> <p><b>【脅威】</b><br/>高速ツアーバス事故を発端に平成26年に改正された新たな貸切バスの運賃・料金制度により、結果的に移動時間・距離が制限され、当地域への団体周遊観光バスによる観光客数の減少が表面化している。</p> |
| 機会                        | <p><b>【機会】</b><br/>中核的都市機能を備えた当町は、大型店や中小の店舗が立ち並び、商圏人口は約6万人、道内トップクラスの年間商品販売額を誇る。<br/>近年、健康・自然志向のライフスタイルに関心が高まるなか、日本唯一の酪農ロングトレイル「北根室ランチウェイ」を利用する個人客が増加している。また、東アジア圏からの訪日外国人観光客の増加に伴い、食や大自然などの北海道ブランドを目的とした集客が期待できる。<br/>また、平成28年3月に開通した北海道新幹線を利用して来道する観光客の当地域への2次交通対策(空路)の検討がされており、東北・北関東圏からの新規観光客の掘り起こしへの期待と共に新たな観光ルートの確立が求められている。</p>   |    |   |    |  |
| 脅威                        | <p>さらに、国は北方領土への国民の関心を高めるとともに、領土教育を一層推進するために、北方領土隣接地域への訪問客拡大に向けた振興方策を検討し、もって北方領土隣接地域の振興に資するよう「北方領土隣接地域への訪問客拡大に向けた振興方策の検討会議」を平成28年11月に発足させた。</p> <p><b>【脅威】</b><br/>高速ツアーバス事故を発端に平成26年に改正された新たな貸切バスの運賃・料金制度により、結果的に移動時間・距離が制限され、当地域への団体周遊観光バスによる観光客数の減少が表面化している。</p>  |    |   |    |  |

| 2 参考とする指標  |  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・根室管内観光入込客数</li> <li>・根室管内観光宿泊客数</li> <li>※()内はうち訪日外国人宿泊客数</li> <li>・根室管内観光宿泊客延数</li> <li>・中標津町観光入込客数</li> <li>・中標津町観光宿泊客数</li> <li>※()内はうち訪日外国人宿泊客数</li> <li>・中標津町観光宿泊客延数</li> <li>・観光イベント入込数</li> <li>・中標津空港搭乗者数(東京線・札幌線)</li> <li>(※羽田1便/日、新千歳3便/日)</li> <li>・根室管内教育旅行誘致実績</li> <li>・地域高規格道路釧路中標津道路の整備状況</li> <li>・地域高規格道路根室中標津道路の整備状況</li> <li>・釧路外環状道路の整備状況</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年度～1,874,400人、平成26年度～1,827,500人、平成27年度～1,905,200人</li> <li>平成25年度～209,800人(3,249人)、平成26年度～199,700人(4,235人)、平成27年度～216,200人(5,235人)</li> <li>平成25年度～262,000人、平成26年度～261,600人、平成27年度～270,100人</li> <li>平成25年度～326,300人、平成26年度～317,600人、平成27年度～335,700人</li> <li>平成25年度～50,500人(1,004人)、平成26年度～47,400人、うち訪日外国人宿泊客数(1,233人)、平成27年度～45,100人(1,624人)</li> <li>平成25年度～56,400人、平成26年度～57,800人、平成27年度～56,700人</li> <li>(なかしべつ夏祭り) 平成26年度～45,000人、平成27年度～43,000人</li> <li>(なかしべつ冬まつり) 平成25年度～30,000人、平成26年度～37,000人、平成27年度～39,000人</li> <li>(じゃがいも伯爵まつり&amp;ふれあい広場) 平成26年度～18,000人、平成27年度～10,000人</li> <li>(まちなか賑わい秋の陣) 平成26年度～5,500人、平成27年度～8,500人</li> <li>平成25年度～192,215人、平成26年度～194,530人、平成27年度～195,467人</li> <li>平成25年度～3,175人・32校、平成26年度～2,529人・34校、平成27年度～2,926人・31校</li> <li>計画区間100kmのうち供用区間 19.2km(平成27年度末)</li> <li>計画区間40kmのうち供用区間 8.1km(平成27年度末)</li> <li>平成27年度末に計画区間16.8kmのうち9.9kmを供用開始</li> </ul> |

| 3 民間が実施主体の場合に市町が行う取組促進の内容   |
|---|
| <p>観光協会事務局と町経済振興課が連携した取組みを実施している。また、地域おこし協力隊(町嘱託職員)が観光振興や観光資源の発掘・宣伝に関する活動に携わり、観光協会のサポート体制を作り支援している。</p> |